

日吉ダムの洪水調節（台風16号）について

- 平成13年8月以来の洪水調節を実施 -

8月30日深夜に日本海を通過した大型で強い台風16号は、近畿地方の北部を中心に強風による被害をもたらしました。また、この台風の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム（京都府船井郡日吉町）上流域では、8月30日19時から降り始め、31日0時から1時に流域平均の1時間あたり最大雨量が32.6mmを記録し、総雨量は106.0mmに達しました。日吉ダムでは、この降雨の出水により、31日3時17分に洪水量（毎秒150m³）に達したため、洪水調節を開始し、5時32分に最大流入量毎秒331.96m³となりました。最大流入量に達した時刻のダムの放流量は毎秒147.00m³で、毎秒約185m³を調節し、約364万m³の流水をダムに貯留しました。

日吉ダムにおいて洪水調節を実施したのは、平成13年8月以来となります。今回の洪水調節の効果を下流の亀岡（京都府亀岡市保津町）地点において試算すると、ダムが無かった場合には最高水位が3.29mとなりますが、ダムで洪水調節をしたことより0.34m（実際の最高水位2.95m：指定水位は2.5m）水位を低減することができました。

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

